

## テーマ「慢性腎臓病」

	第一日（3月15日）	第二日（3月16日）
午前		09:00-10:00 講義：臨床研究・腎臓と骨代謝 10:15-11:15 見学：透析室見学・透析療法 11:30-12:30 講義・実習：腎臓の病理のABC
昼食	12:30-12:45 オリエンテーション、自己紹介	12:30-13:30 昼食：腎不全食
午後	13:00-14:00 実習：外来・検尿実習・腎機能測定（臨床検査部 協力：血清クレアチニン値測定と腎機能の測定） 14:15-15:15 講義：糖尿病性腎症 15:30-16:30 講義：腎疾患の薬物治療 16:45-17:45 見学・実習：病棟・腎血流ドブラ 18:00-18:30 講義・実習：慢性腎臓病	13:30-14:30 講義：腎移植 14:45-15:45 講義：基礎研究・遺伝子導入その他 16:00-17:00 講義：心腎相関 17:15-18:15 腎臓病患者さんとの懇談 18:15-18:30 修了式
夕	18:30-20:00 懇親会	

アウトラインは下記（2ページ）に記載しております。

## 社会人医学教育セミナー「慢性腎臓病」

慢性腎臓病（CKD）は比較的新しい概念であり、糸球体濾過量が  $60\text{ml}/\text{min}/1.73\text{m}^2$  未満の状態あるいは何らかの形態的異常または尿異常が 3 ヶ月以上続く場合と定義されます。わが国にはこの基準に該当する人口が約 2000 万人いると推定されています。CKD は末期腎不全患者の予備軍であり、26 万人に達した維持透析患者は、今後も増加が予想されます。また、CKD は心血管病の最大のリスクファクターであり、心腎相関という病態の存在も推定されており、CKD の進展を抑制することが心臓血管病による死亡を減らす可能性も示唆されています。このような現況で、慢性腎臓病が医学界のみならず社会的にも注目されているため、今回の社会人医学教育セミナーで取り上げることとしました。講義と実習を織り交ぜ、参加された方の GFR を推定し、腎臓超音波による腎臓の実測、血液透析見学、持続腹膜透析見学などの実習に加えて、糖尿病性腎症、腎性骨症、腎移植、薬物療法など慢性腎臓病に関連する講義とともに、さらに遺伝子導入法など腎臓病研究の最先端の講義も予定しています。また、実際の慢性腎臓病患者さんとの懇談もあり、慢性腎臓病とはどういう病気であるかを 2 日間で十分理解いただける内容であると思います。多くの参加を期待しております。